

## ■星置東小学校の実践

### (1) 研究内容

- ・アイヌ民族の方（アイヌ民族の古式舞踏団「アンコラチメノコウタラ」）を学校に招いて行うアイヌ文化体験学習。



### (2) 学習を通して育てたい力

〈4年生〉

- ・アイヌ文化に触れる体験的な活動を通して、一人一人が互いにかけてあげのない人間として尊重し合い、支え合い励まし合う温かい人間関係の中で、心豊かに生きる態度を育てる。

### (3) 実践の内容

【実践①】 4年生社会科「昔から今へと続くまちづくり」

「アイヌ民族の方を学校に招いて行うアイヌ文化体験学習」

#### ○ねらい

- ・昔のアイヌの人たちの生活や文化に関心をもち意欲的に調べようとする。
- ・アイヌの人たちの衣食住や遊びについて調べたことから、自然を生かす知恵について考える。
- ・体験的な活動を通して、アイヌ文化により強く関心をもつとともに、共感したり、実感したりしながら理解を深める。
- ・アイヌの人々の文化を理解し、共に生きていくことや人権を尊重する態度を育てる。

#### ○学習内容

- ・北海道の地名やアイヌの人たちの衣食住について調べる。
- ・知里幸恵の業績を取り上げたり、調べ学習をしたり、アイヌの人たちの説明を聞いたりしながら、自然と調和し、自然を大切に生活であったことに気付く。
- ・楽器演奏を鑑賞したり、踊りを一緒に体験したりすることを通して、アイヌの人々の文化を知る。



## (4) 成果と課題

### ①成果

- ・体験学習を行ったことで、アイヌの方々の存在を身近に感じ、共によりよい北海道をつくりあげようとしている一体感を感じることができた。
- ・アイヌ民族の服装の着用、ムックリの演奏の鑑賞、踊りの体験を通して、異なる文化の存在を理解し、人権を尊重していくことの大切さを学ぶことができた。
- ・調べ学習での知的な理解から、実感的な理解への変化が見られた。

### ②課題

- ・アイヌの方々との対話から、より心を通い合わせようとする前向きな子どもの姿が見られた。今後は、「アイヌの人たちの人権が守られる社会は、自分たちの学校や学級においても同様に理想とする社会であり、誰もが尊重される社会を目指していく。」という人権を尊重する心を育てられるよう学習を進めていきたい。

